

インテック、INS ネットをモバイル回線に移行して EDI2024 年問題を解決する「閉域モバイルサービス」を提供開始 ～INS ネットと同等の EDI 環境を実現～

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）は、EDI アウトソーシングサービス（以下 EINS/EDI-Hub Nex）およびデータ連携プラットフォームサービス（以下 TEDIOS）に、LTE※1 網を活用したネットワーク接続メニュー「閉域モバイルサービス」を追加することを発表します。

LTE 網は、インテックが提供する統合型閉域ネットワークサービス (DCAN※2) 標準メニュー（ワイヤレスアクセス）として多くのお客様にご利用いただいています。

今回、LTE 網を活用したネットワーク接続メニュー「閉域モバイルサービス」を、「EINS/EDI-Hub Nex」および「TEDIOS」に追加したことで、EDI（電子データ交換）や EB（エレクトロニックバンキング）などの企業間での受発注等のデータ交換をモバイル回線で利用できるようになります。

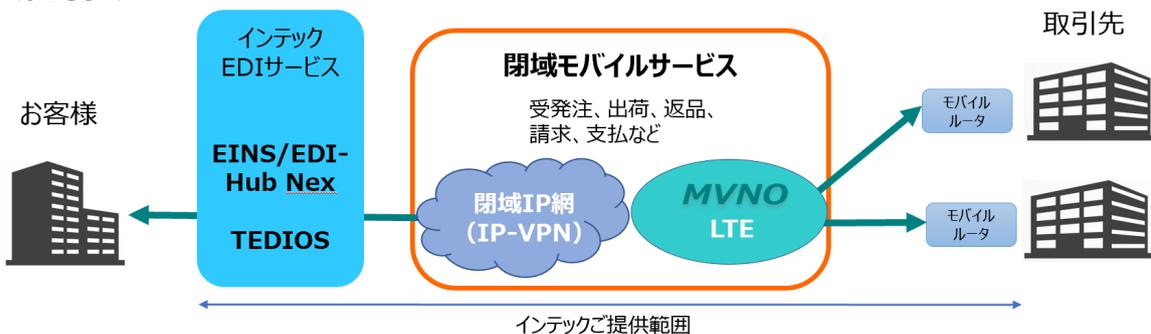
「閉域モバイルサービス」を利用することで、これまでインテックの EDI サービスを利用しているお客様は、INS ネットをモバイル回線に移行するだけで、INS ネットと同等の EDI 環境を実現でき、EDI2024 問題※3 を解決することができます。

■「閉域モバイルサービス」の提供イメージ

<before>



<after>



※1 LTE：Long Term Evolution の略。携帯電話の通信規格のひとつ。第3世代携帯電話（3G）を進化させた通信規格。

※2 DCAN：2014年10月よりインテックが提供する統合型閉域ネットワークサービス。

詳細は EINS WAVE のブランドサイトをご参照ください。(https://www.einswave.jp/service/network_service/dcan/)

※3 EDI2024 年問題：2024 年 1 月予定の NTT 東西による INS ネット（デジタル通信モード）のサービス終了および電話網の IP 化に伴い、既存のレガシー EDI が従来通り使用できなくなることを。

詳細は NTT 東日本ホームページをご参照ください。(https://web116.jp/2024ikou/)

■「閉域モバイルサービス」の特長

(1) 物理回線敷設が不要

INS ネットとダイヤルアップルータを、モバイル回線とモバイルルータに変更することにより、これまでと同程度の EDI 環境を実現できます。

(2) インターネット EDI への対応(HW/SW 導入)が不要

インターネットを利用した EDI で必要となる電子証明書や機器の設置が不要なため、電子証明書の発行や定期的な入れ替えも発生しません。

(3) なりすまし接続防止（セキュリティ対策）

予め決められたモバイルルータのみ接続可能です。閉域接続によりインターネットに対するセキュリティ対策も不要です。

(4) 移行が容易

既存の全銀 TCP/IP ソフトがそのまま利用可能なため、プロトコル変更をすることなく、移行に伴う変更を極小化できます。

(5) 通信時間の短縮

通信速度は、全銀 TCP/IP で最大 2Mbps（INS 回線の約 30 倍程度）が見込めるため、業務効率が向上します。

※モバイルルータの設置場所、回線状況により変動します。

■背景

2024 年、NTT 東西が提供する INS ネット（デジタル通信モード）が終了します。INS ネットは現在も受発注などを行う EDI（電子データ交換）や、銀行へ振込データなどを転送する EB（エレクトロニックバンキング）に広く使われているため、多くの企業で業務に支障が出ると考えられています。そのため、企業には早急にインターネット等を使ったシステムへの切り替えが求められています。

しかし、インターネット EDI への移行には、ハードウェア、ソフトウェアの変更、回線工事など多くの課題を解決する必要があり、まだ移行に踏み切れないお客様が多くいます。そこでインテックは INS ネットをモバイル回線に切り替えるだけで容易に移行を行える「閉域モバイルサービス」を追加しました。

■「閉域モバイルサービス」提供価格

本サービスの利用にはインテック EDI サービス契約者と接続先に以下の料金がかかります。

< 契約者向け提供価格（税込） >

初期料金：276,000 円～

月額料金：33,000 円～

※本接続サービス利用には別途 EDI サービス「EINS/EDI-Hub Nex」または「TEDIOS」の契約（初期加入料金ならびに設定料金等）が必要です。

< 接続先向け提供価格（税込） >

初期料金：123,000 円～

月額料金：21,000 円～

※接続先向け料金を契約者にて負担する場合は、別途ご相談ください。

詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.intec.co.jp/service/detail/edi/edi-2024.html>

■今後の展開

インテックは、企業の INS ネットを利用した EDI から、インターネットや INS ネットの代替となるネットワークを利用した EDI への移行を推進し、企業間で発生する受発注、出荷、返品、請求、支払などのデータ交換を様々な解決策にて支えます。AnserDATAPORT 接続サービスに続く第 2 弾として、閉域モバイル接続サービスを提供することで、「EINS/EDI-Hub Nex」および「TEDIOS」の新規ユーザーを、2023 年までに 100 社獲得を目指します。

EDI アウトソーシングサービス (EINS/EDI-Hub Nex) について

35 年以上の運用実績を誇る、EDI 各種処理から運用・ヘルプデスク・コンタクトセンターまで兼ね備えたフルアウトソーシングサービスです。流通業界の業界 VAN の他、メーカー・卸、物流での利用実績が豊富です。

EDI アウトソーシングサービス (EINS/EDI-Hub Nex) の詳細は、以下をご参照ください。

https://www.einswave.jp/service/edi/edi_hub/

データ連携プラットフォームサービス (TEDIOS) について

国内外問わずあらゆる B2B 接続を可能にする EDI サービスと、豊富なアダプタ・トリガを実装し各種クラウドサービスとの連携も容易な iPaaS サービス (EAI 連携) により、システム全体をシームレスに連携するサービスです。PCI DSS に準拠する高セキュリティなシステムでカード業界をはじめとする金融機関での利用実績が豊富です。

データ連携プラットフォームサービス (TEDIOS) の詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.einswave.jp/service/edi/tedios/>

各種 EDI サービスの詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.intec.co.jp/service/detail/edi/>

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964 年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループはグループ社員約 2 万人が一体となって、強みを活かし、国内および

海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつけていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣

E-Mail : press@intec.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック 情報流通基盤サービス事業本部 事業推進部 担当：湊本、角田

TEL : 050-5815-3683 E-Mail : edi_info@intec.co.jp